



瑞色含春
ウエンティン・ササキ / 西端 春奈 / 森多佳子
三人展

2026 Ceramic Art Exhibition
at Midorigaoka Art Museum
in Nara, Japan

瑞色含春

ウェンティン・ササキ / 西端 春奈 / 森 多佳子

三人展

【瑞色含春 ずいしょくがんしゅん】

春の訪れを感じさせる美しい景色や、明るい未来への期待を表す。

春、それは新しい命が芽吹き、彩りを宿し白銀の世界が色鮮やかさを取り戻す季節。そんな祝福の春の訪れとともに女流作家三人が集う、華やかで美しい作品をご高覧ください。



ウェンティン・ササキ

略歴 (プロフィール)

- 2009 台北鶯歌陶磁博物館金質獎 一等賞【台湾】
個展【サウスカロライナ芸術大学・アメリカ】
- 2010 国立台南芸術大学陶磁専攻修士課程 修了【台湾】
メイン州 Haystack 工芸学校 創作奨学金【アメリカ】
個展【国立台南芸術大学・台湾】
- 2012 第 68 回金沢市工芸展 NHK 金沢放送局長賞
第 28 回石川の現代工芸展 北陸放送局長賞
台北鶯歌陶磁博物館北陶奨 銀賞【台湾】
第 52 回日本クラフト展 奨励賞
- 2013 第 69 回金沢市工芸展 金沢商工会議所会頭賞
台湾故宮第一回台湾青年陶芸賞【台湾】
個展【KOGEI まつきち・石川】
- 2014 金沢卯辰山工芸工房 修了
Talente2014 国際クラフトコンペ 入選【ドイツ】
第 70 回金沢市工芸展 金沢市長奨励賞
金沢卯辰山工芸工房 工房賞
- 2015 個展【SILVER SHELL・東京】(以後 3 回)
- 2016 台湾国際金壺賞 銅賞【台湾】
- 2017 東京藝術大学美術専攻(陶磁) 博士課程 修了
博士号取得
第 57 回日本クラフト展 優秀賞
個展【現代陶芸サロン桃青・大阪】
個展【山ノ上ギャラリー・石川】
個展【河邊生活・台湾】
- 2018 個展【富貴美術館・台湾】
個展【しろがね Gallery・東京】
- 2019 個展【atelier&gallery creava・石川】(以後 1 回)
- 2020 個展【日本橋三越本店・東京】(以後 1 回)
個展【gallery mus・東京】(以後 1 回)
- 2022 御室芸術祭【仁和寺白書院・京都】
- 2026 現在ノ茶陶 水指ト茶碗テン15-III【緑ヶ丘美術館・奈良生駒】

西端 春奈 (にしばた はるな)

略歴 (プロフィール)

- 1979 兵庫県丹波篠山市に生まれる
- 1998 篠山鳳鳴高等学校 卒業
- 2002 京都精華大学 芸術学部デザイン学科 卒業
- 2010 個展【大丸京都店・京都】('12)
- 2014 個展【阪急うめだ本店・大阪】
- 2015 個展【現代陶芸サロン桃青・大阪】('18)
- 2018 グループ展「丹波焼の現在」【高島屋京都店・京都】
- 2022 個展【日本橋三越本店・東京】
- 2024 個展【山陽百貨店・兵庫】

森 多佳子 (もり たかこ)

略歴 (プロフィール)

- 武蔵野美術短期大学工芸科 卒業
- 1996 静岡市にて開窯
- 1997 2 人展【静岡伊勢丹・静岡】
- 1998 個展【ギャラリー阿咩・静岡】(以後隔年開催)
- 1999 第 30 回東海伝統工芸展 入選 (以後 10 回)
- 2001 個展【新井画廊・東京】
- 2002 個展【ギャラリーミシマヤ・神奈川】
個展【ECRU+HM・東京】
個展【世田谷ギャラリー・東京】
- 2003 個展【陶磁器一輪・東京】
- 2005 個展【静岡伊勢丹・静岡】
- 2008 作品展【山の上ギャラリー・神奈川】(以後春作品出品)
- 2009 個展【ギャラリー陶華・静岡】
- 2010 個展【TODAY'S GALLERY・愛媛】
- 2012 個展【ギャラリー季粋・福岡】
個展【ギャラリー悠・静岡】
- 2013 2 人展【ギャラリールヴァン・東京】
- 2014 これで飲む! 酒とお茶のうつわ展【ならまちギャラリーたちばな・奈良】
- 2016 個展【ならまちギャラリーたちばな・奈良】(以後隔年開催)
- 2019 松坂屋静岡店美術画廊 出品
- 2021 日本橋高島屋 7 階和食器 WAGOTO 出品
- 2026 現在ノ茶陶 水指ト茶碗テン15-III【緑ヶ丘美術館・奈良生駒】

ウェンティン・ササキ WEN-TING Sasaki



星の瞳 (H18.7×W23.0×D23.0cm)



蓋碗 (H10.3×Φ11.0cm)



酒壺 壺台 石花(白) (H7.8×W7.0×D6.0cm)

2023年頃から取り組んでいた「雲語り」作品が中心となっております。植物や身のまわりの大切なものをモチーフに、刻々と変化する雲のかたちから模様を想像します。雲がそっと折り重なるように、器のアウトラインを掘り出し、かたちにしています。ご覧いただくと幸いです。

西端 春奈 NISHIBATA Haruna



鯛づくし 大皿 (H6.5×Φ33.0cm)



金魚づくし 壺 (H23.3×Φ22.5cm)



こぼれ梅 ふくら蛙 (H8.3×W11.3×D13.8cm)

個人的なことから、世界的なことまで、毎日とはまならないことであふれていて、じわじわとすり減るような、締め付けられるようなそんな感覚を誰でも感じることがあると思います。そんな毎日の中でも、近くにあるとフワッと気持ちがほぐれたり、ほっと肩の力が抜けるような、できればふふっと笑えるようなそんなものが作りたいと考えながら作陶しています。

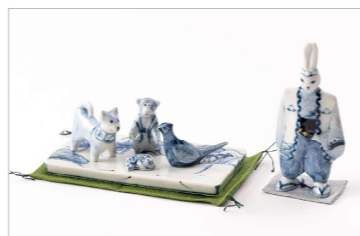
森 多佳子 MORI Takako



狩り文様 楕円皿 (H4.5×W26.3×D21.0cm)



花唐草文 煎茶碗揃 (H7.4×Φ8.3cm)



桃太郎一行 香立 (H13.1×W14.4cm×D7.5cm)

器が好きです。(作るのはもちろん集める、使う、眺める)中でも染め付けは格別です。描きたい絵を思いながら、轆轤や石膏型で形を作ります。主な絵柄は桜、松、椿、青海波、唐草、宝づくし等ありますが何処かに兎が居ます。物語を感じる絵柄、風を感じる絵柄を心がけています。楽しく愛でて使っていただければと思っています。

瑞色含春 三人展

ウェンティン・ササキ 西端 春奈 / 森 多佳子		【クリエイティブブレーン】	
発行	2026年4月26日	プロデューサー	菅野一夫
発行者	菅野一夫	アートディレクション	菅野一夫
発行所	緑ヶ丘美術館 〒633-0262 奈良県生駒市緑ヶ丘2731-10	編集・デザイン	桶谷涼帆
印刷・製本	江戸堀印刷所	撮影	久保佳正
		コピーライター	菅野一夫
		コーディネーター	細見泰弘
		制作スタッフ	菅野貴代・西川裕香子



MAM-ANNEX

Midorigaoka Art Museum

緑ヶ丘美術館・別館



MAM Collection

